

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373600283
事業所名	グループホーム・ジョイフル布袋

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域住民の一員として町内会に加入し地域情報を入手して、清掃活動や祭りなどに参加している。毎年、馬の神事のねり歩きや神輿が立ち寄り、家族と共に祭り人との交流を楽しみにしている。スーパーや喫茶店に外出した折に、近隣の人や知り合いと出合い挨拶や言葉を交わしたりして、近隣に住む人たちとふれあう機会を大切にしている。中学生の福祉体験や幼稚園児との遊びの交流をしたり、市のサマーフェスティバルに参加している。歌や踊り、フットマッサージなどのボランティアを受け入れている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年間計画を配付し、入居者、家族、各地区（北山、南山、天王）の区長、民生委員、地域包括支援センターや市職員の参加を得て年6回実施している。日ごろの活動の様子や事故報告、地域との情報交換などが行われている。地域や事業所の防災対策について情報交換や意見提案があり、熱心に協議をしている。提案や意見は記録されカンファレンスで協議し、運営に活かされている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 推進会議の資料等や会議録配付をしたり、更新手続きや代行申請などの折に、行政担当者に指導や助言を得ている。運営推進会議に市担当職員の参加は年1回であるが、包括支援センターは開催ごとに参加をしている。困難事例や認知症カフェなどについて相談や情報交換をしている。また、機会あるごとにサービスの内容を伝え、協力関係を深めるようにしている。市主催の研修や事業者講習会などに積極的に参加している。江南市の「安心安全ネット」に加入し、災害に関する情報収集を図っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 日々のケアの中で聞いたり、月1回の「よりあい」で入居者と職員が話し合う機会を設け、やりたいことや困っていることなど入居者の思いを聞き、議事録に残し運営に反映している。家族からは訪問時に聞いたり、年2回事業所独自のアンケートを実施し、ケアや接遇などについて満足度を調査し、家族に報告をしたりケアに活かしたりしている。担当者の意見を添えた写真入りのホームだより「ほまいて通信」を毎月発行し、家族から安心が寄せられている。祭り、バーベキュー、遠足、忘年会など年4回家族が集う会が開かれ、情報交換や食事などを通して交流を深めている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	（例示） ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	